

# 学校評価結果を生かした主な改善点について

## 「しっかりと考える子」をはぐくむために

- 学習の基礎・基本定着のために、基本的な学習ルールを精選して教室に掲示しました。そのことにより、児童の学習態度が少しずつ向上してきています。基本的な学習態度は、学校生活の基本でもあり、全ての児童に身に付くように、今後も、学習ルールを守ることへの児童の意識を喚起していきます。
- 複式学習のルールの有効活用や状況に応じた指導を通して、適切な学習道具の準備や学習規律等の徹底を図ります。また、相手を意識した話し方や聞き方できるよう、学習リーダーの育成に努めます。
- 児童の本、図書室、読書への興味・関心を喚起するために、図書委員会主催による定期的なイベントの実施や読み語り活動等の内容の充実を図ります。また、家庭での読書活動の推進のため、月1回の家庭学習パワーアップ週間に、子ども自身に目標を設定させ、家庭での読書の奨励や啓発に努めます。
- 教師は複式授業の研修を進めています。授業中の直接指導・間接指導において教材を工夫し、一人一人の実態に応じた学習のためにタブレット等のICTを活用したり、授業の構成を工夫したりしていきます。研修を積み重ね、さらに個に応じた授業実践に取り組んでいきます。

## 「もくもくとがんばる子」をはぐくむために

- 本校近くを通っている国道は、交通量が多い直線道路のため、速度超過した車も多く見られます。事故から命を守るためにも繰り返して何度でも安全について指導していかないとけません。校内においても、一部廊下を走る児童が見られるため家庭と協力し、安全な生活について、さらに啓発に努めていきます。
- コロナ禍の中で手洗い、消毒、換気などの感染対策が身に付いています。換気や消毒を適宜行っているため、校内で感染症が広がることはありませんでした。1月にはゴールを設置したので、寒い中でも元気に外でサッカーをする児童が増えています。今後も業間マラソンや縄跳びなど、一人一人が目標を持って取り組めるように指導を続けていきます。
- 日々の練習やクラブ活動を通して、下灘太鼓の伝統や歴史を知り、これからも継承と発展に努めていこうとする心情や地域を誇りに思い、大切にしていこうとする気持ちを育てていきます。また、持続可能な活動にするため、今後学校ボランティアと連携して、地域の方に指導者として参加していただき、地域移行を図っていきたくと考えています。

## 「なかよく明るい子」をはぐくむために

- 今年度から完全複式学級となり、新しいクラスメイトが増えた中でのトラブルや複式学習への不安を感じていることが予想されます。今後は、温もりのある学級づくりや学習リーダー育成等による複式学習の仕方の定着を図っていく必要があると考えています。
- 「いつでも、誰にでも、自分から」気持ちの良い挨拶ができるよう、今後は、委員会活動を中心にして挨拶がよくできている児童を称揚するとともに、地域の人や来校者に挨拶したり、校内では会釈をしたりするなど、相手や場に応じた挨拶を意識していくよう指導を続け、進んで気持ちの良い挨拶ができる児童を育てていきます。

## 「だんだんのびる子」をはぐくむために

- 学校では、教師や来校者に対しては、丁寧な言葉遣いができますが、児童同士となると、適切とは言えない言葉遣いや態度も見られます。正しい言葉遣いを理解してはいるが、親しさからのなれ合いで、気持ちの良くない言葉を発してしまうこともあります。学年に応じて、相手意識を持たせ、時と場に応じた適切な言葉遣いを指導したり称揚したりしていきます。

## 管理・運営の徹底を図るために

- 各種帳簿等の確認も管理職を中心に複数の教職員で実施しています。情報管理については、全教職員でデータ管理の方法等について共通理解を図り、情報漏洩防止を徹底しています。不祥事防止のため、定期的に不祥事防止チェックシートを活用したセルフチェックも実施しています。今後も教育公務員としての自覚を持ち服務規律の遵守に努めます。